

事務事業マネジメントシート
(兼)予算編成資料・実施計画資料

作成日 H 27 年 3 月 27 日作成

事務事業名	市消防委員会運営事業 □ 実施計画事業	所属部局	消防本部	単位番号	13045				
		所属課室	消防課	課長名	清水 貴雄				
基本政策	I 情報と連携の都市づくり	所属担当	地域消防担当		担当者名	志村 太			
	06 安全な環境づくり		担当者名						
政策	08 防災体制の充実	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目
			01	一般	09	01	02	020	01
施策		事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業	<input type="checkbox"/> 施設等維持管理事業					
			<input type="checkbox"/> 県の制度による義務的事業	<input type="checkbox"/> 補助金交付事業					
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 15 年度)	法令根拠	<input type="checkbox"/> 市の制度による義務的事業	<input type="checkbox"/> その他の事業					
	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		<input type="checkbox"/> 義務化されている協議会等の負担金						
事業の内容 ・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載			事業費の主な内訳 (26年度 決算見込)						
消防委員会は、市長の諮問に応じ、 ①消防団の運営に関すること。 ②消防施設の整備及び改善に関すること。 ③消防団員の服務及びその改善に関すること。 ④消防団員の懲戒及び表彰に関すること。			項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)			
以上のことについて調査審査し及び意見を具申する事務事業を行なっている。			非常勤職員報酬	105					
							計 105		

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

①活動	年1回以上開催また、消防団員の優遇等について協議する。
26年度活動内容	年1回以上開催また、消防団員の優遇等について協議する。
27年度活動予定	年1回以上開催また、消防団員の優遇等について協議する。
②対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	
・地域委員(消防経験者) ・消防関係者 ・学識経験者	
③意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていくのか、どのように変えるのか)	
消防団員の快適な活動環境の向上	
④上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	
消防団活動が支障なく遂行できる。	

⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない	
名称	単位
ア:開催件数	件
イ:	
ウ:	
⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない	
名称	単位
ア:意見件数	件
イ:	
ウ:	
⑦成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない	
名称	単位
ア:実施が適当とされた件数	件
イ:	
ウ:	
⑧上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない	
名称	単位
ア:実施件数	件
イ:	

(2) 事業費・指標の推移		単位	24年度 (決算・実績)	25年度 (決算・実績)	26年度 (決算見込・実績)	27年度 (予算・目標)	28年度 (計画・目標)	29年度 (計画・目標)	最終 年度 (トータルコスト・目標)
年間トータル	事業費	国庫支出金 千円							
		県支出金 千円							
		地方債 千円							
		その他 千円							
		一般財源 千円	211	183	105	211	211	211	
		事業費計 (A) 千円	211	183	105	211	211	211	0
	人件費	正規職員従事人数 人	2	3	3	3	3	3	
		延べ業務時間 時間	100	100	100	100	100	100	
		人件費計 (B) 千円	455	455	455	455	455	455	0
		(A)+(B) 千円	666	638	560	666	666	666	0
活動指標		ア:件	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	
対象指標		イ:件	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	
成果指標		ウ:件	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	
上位成果指標		ア:件							

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	平成15年4月1日より、南アルプス市における消防行政の円滑な運営を図るため南アルプス市消防委員会が設立された
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べどう変化しているか?また、今後の予測は?	時代のニーズは変わりつつあるが、消防行政の円滑な運営を図る目的を通じ、市議会議員、消防関係者、学識経験者ら15人(条例により、人数が限られている)がお互いに意見を交換し合い、地域消防の促進を図ってお
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	特になし

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	「取り組みしている ⇒【内容】」 <input checked="" type="checkbox"/> 「取り組みしていない ⇒【理由】」 <input type="checkbox"/>
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	毎年5月に総会が有り、委員相互の意見の交換を行っている。今回は消防団員確保が厳しい状況に対し地域で取り組んでいただいた経緯の照会や、消防団員特典制度についての充実を検討した。
③ H 26年度に実施した改革改善の内容	消防委員改選のため、消防団員経験者にて推薦して頂くことにした。

事務事業名	市消防委員会運営事業	所属部	消防本部	所属課	消防課
-------	------------	-----	------	-----	-----

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 消防団活動の向上を図ることを目的としているため、地域防災活動に反映している。
	②公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 地域消防は、消防団が担っている。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。□ 民間・NPO □ 市民協働
	③維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 消防業務として、市民の生命、身体、財産を保護することを目的としている。
	④成果の向上余地 今後、工夫や努力をする事で、事務事業の目的に向けて現状よりも成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 意見を交換し合い、地域消防の推進を図っている。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 字識経験者や市議会議員の意見を取り入れられなくなる。
効率性評価	⑦事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 学識経験者や地方委員の意見を取り入れられなくなる。
	⑧人件費の削減余地 成果を下げず人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 消防団員の意識の向上を図り又、地域住民の関心を高め団員の確保に繋げるためにも削減余地はない。
公平性評価	⑨受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 市民の生活を守っている。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	消防団にとって前任者や経験者の意見は重要なことですので今後も同様に実施したい、また消防団員確保に繋がるよう努力する。
②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)…複数選択可	(3) 改革・改善による方向性
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果)	<input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果)
<input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果)	<input type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切)
<input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果)	<input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果) <input type="checkbox"/> 終了
(2) 改革改善案について	コスツ水準 ↓ 向上 維持 水準 ↓ 低下
一つの団体として活動をしている市消防団に対し第3者として見る目をもち、より良い活動をするのは必要であると思われる現状維持	※ 廃止・休止の場合は記入不要
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策	(5) 事務事業優先度評価結果 平成26年度
	成果優先度評価結果 (12)
	コスト削減優先度評価結果 (6)